

「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群 特別研究事業
第2回国際検討会

古代東アジアにおける地域間交流と信仰・祭祀

2020年1月12日（日）・13日（月・祝）

於：福岡県中小企業振興センター（大ホール）

「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群保存活用協議会では、ユネスコ世界遺産委員会の勧告に基づいて、世界遺産としての価値をより高めるべく、古代東アジアにおける航海や交流、そして祭祀の実像についての調査研究を行っています。

特別研究事業は、関連する分野の専門家とともに三年間かけて行っているもので、2019年2月の第1回国際検討会では、古代東アジアにおける航海をテーマとして、最新の研究状況を踏まえ、本遺産群で行われた祭祀の背景と特質について考えました。

今回の国際検討会では、宗像・沖ノ島で古代祭祀が行われた4世紀から9世紀を中心とした時期の東アジアにおける信仰や祭祀と、多様な地域間交流に光を当て、各地域の人々がもっていた信仰や祭祀文化の共通点および相違点を探り、宗像・沖ノ島における信仰と祭祀の東アジアのなかでの特質を考えます。

※専門家・研究者向けに公開する学術的な検討会です。

※外国語による発表・発言は日本語に翻訳されます。

※参加無料。申込不要（定員180名）。

1月12日（日）（報告タイトルは仮題。報告時間は質疑を含みます。）

13:00～13:15 開会行事（出席者紹介）・趣旨説明（研究事業の経緯と課題）

13:15～14:15 基調報告「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群の研究上の課題
—世界遺産の視点から—

Cees van Rooijen ケース・ファン・ローイエン（オランダ文化遺産庁）

14:15～15:15 報告1「九州における渡来人と信仰」

田中史生（早稲田大学教授）

<休憩 15分>

15:30～16:30 報告2「宗像地域における対外交流の様相と胸形氏の動向」

花田勝広（野洲市教育委員会）

16:30～17:30 報告3「日本の古代祭祀、宗像・沖ノ島祭祀と東アジア」

笹生 衛（國學院大学教授）

<18:00～ 情報交換会>

※情報交換会のみ事前申込み・会費制（3000円）。立食形式。

情報交換会への参加を希望される方は、12月27日（金）までに福岡県世界遺産室（sekaiisan@pref.fukuoka.lg.jp）へご連絡下さい。

1月13日（月・祝）

9:30～10:30 報告4「中国における道教の成立と民間信仰の日本への影響」

二階堂善弘（関西大学教授）

10:30～11:40 報告5「韓半島における民間信仰の歴史的展開と対外交流」

宋華燮（송화섭）（韓国・中央大学校、歴史学）

11:40～12:00 補足（事務局）・質疑

<昼休憩 60分>

13:00～17:00 討論「古代東アジアにおける宗教的交流と宗像・沖ノ島」

<途中、休憩15分あり>

議長：佐藤 信（人間文化研究機構理事、東京大学名誉教授）

溝口孝司（九州大学教授）

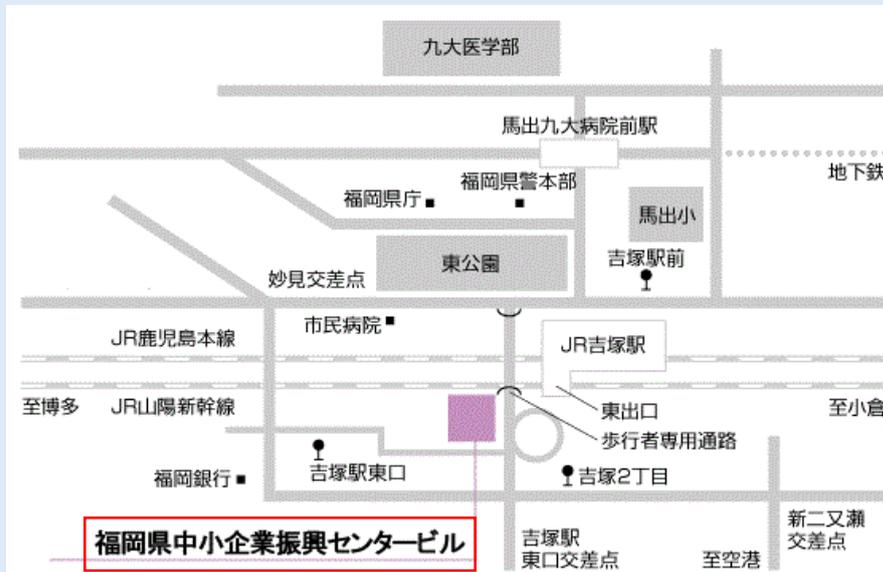
討論参加者：各発表者

秋道智彌（総合地球環境学研究所名誉教授・山梨県立富士山世界遺産センター所長）

高田貫太（国立歴史民俗博物館准教授）

禹在柄（韓国、忠南大学校教授）

会場案内



〒812-0046
福岡市博多区吉塚
本町9-15 2F

JR鹿児島本線
「吉塚駅」
徒歩約1分

※駐車場（有料）は台数に限りがあります。満車の際はJR吉塚駅前の駐車場をご利用ください。

主催：「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群保存活用協議会

（事務局：福岡県文化振興課世界遺産室）

〒812-8577 福岡市博多区東公園7-7 Tel: 092-643-3162 Fax: 092-643-3163